

## 愛知県における米・麦・大豆の取り組みについて

### 1 稲・麦・大豆 生産振興計画2025について

大規模経営体が核となった力強い生産・販売体制の実現のため、需要に応じた稲、麦、大豆の生産による水田農業の収益力強化を目指し、2021年3月に策定。（詳細は別紙1）

#### (1) 水稻

県内の需要に応じた生産数量の確保するため、収量や品質の向上やブランド化の推進

#### (2) 麦・大豆

2年3作等による作付面積の拡大、小麦における需要に応じた品種の生産、大豆における収量や品質の向上

### 2 令和4年産米の生産数量目標の目安について

生産量は県内消費量の約3割で令和3年6月末在庫量も過去と比較して低水準であることから、132,081t、面積換算値は25,826ha（昨年と同水準）に設定

県の推進方向（全国的な販売価格の下落を受けた深堀りの推進）

- ・主食用米からの作付転換の推進
- ・米価の下落に備えたセーフティーネット対策（収入保険・米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策））の周知

【参考】「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」（R3.11）（単位：万t）

令和3年6月末民間在庫量	A	218
令和3年産主食用米等生産量	B	701
令和3/4年産主食用米等供給量計	C=A+B	919
令和3/4年産主食用米等需要量	D	702 ～ 706
令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	213 ～ 217

令和4年6月末民間在庫量	E	213 ～ 217
令和4年産主食用米等生産量	F	675
令和4/5年産主食用米等供給量計	G=E+F	888 ～ 892
令和4/5年産主食用米等需要量	H	692
令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	196 ～ 200

### 3 農業再生協議会について

#### (1) 愛知県農業再生協議会

構 成 員：県、J Aあいち中央会、J Aあいち経済連、県農業会議、県農業振興基金

主な事業：米の生産数量目標の目安の設定・各地域農業協議会への配分

経営所得安定対策等の推進

地域農業を振興するための事業の実施・推進 など

#### (2) 地域農業再生協議会（県下38協議会）

構 成 員：市町村、J A、農業委員会等

主な事業：各農業者への米の生産数量目標の目安の配分

経営所得安定対策等の推進（各地域に即した産地交付金のメニュー設定）

産地生産基盤パワーアップ事業、あいち型産地パワーアップ事業の実施

### 4 令和4年度産地交付金について

全国の令和4年産主食用米の生産量は、本年産の作付面積から21万t（39,000ha）の転換が必要とされているため、令和4年度産地交付金では、作付転換を推進する地域を重点的に助成することで、生産者の需要に応じた生産への取組を支援する。（詳細は別紙2）

#### (1) 麦類について

- ・パン・中華麺用品種ゆめあかりに対する作付助成
- ・地域単位で麦類の面積を拡大した場合に追加配分することで、既存産地での生産拡大を推進

#### (2) 大豆について

- ・大豆の生産安定のため、基本技術の実施に対する支援

#### (3) 飼料用米について

- ・麦類の拡大による主食用米からの転換は、ほ場団地化の必要性や機械設備の面から単年度での切り替えは困難であることから、飼料用米に対する作付助成を継続

#### (4) 加工用米について

- ・本県において一定の需要が見込まれる加工用米の複数年契約について、令和2年産からの継続分に加え新規で支援

#### (5) その他

- ・地域への配分方法については、令和4年産の作付転換の状況を考慮し追加配分